

# 市町村における住民基本台帳ネットワークシステムセキュリティ対策について

## 1 市町村における自己点検等のセキュリティ対策実施状況

### (1) 自己点検

総務省の通知に基づき、市町村における住基ネット担当課が、総務省が定めたチェックリストの項目について1点から3点の3段階で自己点検を実施。

⇒平成24年度は、初めて、全市町村において全項目3点満点という結果となった。

### (2) 外部監査（システム運営監査）

自己点検の結果について、総務省による外部監査（システム運営監査）が実施されている。県内では毎年概ね3団体が、監査法人による外部監査を受検。

⇒平成24年度は、2月末までに中野市、東御市及び御代田町が受検する予定。監査において指摘を受けた項目については、県においてフォローアップを実施することとしている。

## 2 市町村のセキュリティ対策に係る県の対応(平成24年度)

### (1) 巡回指導

県では、市町村における住基ネットのセキュリティ対策の維持向上を図るため、平成22年度から77市町村及び1共同利用団体に対する巡回指導を実地にて実施し、チェックリストに基づく必要なセキュリティ対策について、きめ細かに助言等を行っている。

23年度までの巡回指導において、市町村の自己点検結果と実態との間にかい離が見られたことを踏まえ、これまで外部監査又は巡回指導を実施していない52団体に対する巡回指導を今後2年間で実施することとし、24年度は大幅に実施団体を増加させた。

#### 【実施状況】

年度	～H21	H22	H23	H24	H25
巡回指導の実施団体数	—	9	8	28(見込み) ※24団体は実施済み	24(予定) ※未実施の全団体対象
(参考)外部監査	10	3	3	3	3

#### 【主な課題(指摘事項)】

・具体的なセキュリティ対策を定めた要領・手順書等の不備  
・セキュリティ対策実施に係る確認の記録の不備

個別に実態を確認した上で、具体的に必要な対策について、参考様式等を提示しながら助言し、改善を依頼

### (2) 操作者識別カード（以下「カード」という。）の適切な管理の徹底

住基ネット端末を操作するためのカードの管理について、市町村に対し以下の取組みを行った。

- ・カードの適切な管理について通知し、カードの管理体制等の再点検を指示
- ・担当者研修会等において、カードの管理の徹底について周知
- ・巡回指導において各市町村のカードの管理状況を確認し、適切な管理について個別に助言